

工事番号															
(様式－１)															
市長		副市長		部長		課長		係長		係員		検算		担当	
令和 7 年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事 閲覧設計書															
市道堀金1442号線 安曇野市 堀金三田															
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負			
橋梁補修工 橋長L=7.0m 幅員W=5.6m 舗装工(橋面) 超速硬PFRC A=32.9m2 表面含浸工 高分子系浸透性防水材 A=76.1m2 ひびわれ注入工 低圧注入工法 L=72.5m IPH工法 L=74.9m 伸縮装置補修工 L=13.0m								施 工 期 間				220 日間			
								起工予定年月日				令和 年 月 日			
								竣工予定年月日				令和 年 月 日			
								契約保証方法				金銭的保証			

総括情報表

頁0-0002

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信（2） 07.07.01		
	当 世 代		前 世 代
前払率（%） 消費税率（%） 工種 施工地域区分(共通仮設) 施工地域区分(現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増 週休2日補正 冬期補正（現管）	40 10 % 10 橋梁保全工事 03 一般交通影響有り(2)-1 03 一般交通影響有り(2)-1 02 上記以外 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し 07 月単位 464		

(工事費内訳書)

本工事費

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
橋梁保全工事						
舗装工			式			
舗装打換え工（橋面）			式			
コンクリート舗装工			式			
舗装打換え工（取付）	1		橋			工種 第0001号表
舗装版切断			式			
舗装版破碎	11		m			工種 第0002号表
表層	12		m ²			工種 第0003号表
	12		m ²			工種 第0004号表

(工事費内訳書)

本工事費

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
橋梁補修工										
				式						
地覆補修工										
				式						
橋梁地覆とりこわし										
	0.1		m	3					工種	第0005号表
型枠										
	1		m	2					工種	第0006号表
コンクリート										
	0.1		m	3					工種	第0007号表
表面含浸工										
				式						
下地処理										
	1			橋					工種	第0008号表
含浸材塗布										
	76		m	2					工種	第0009号表
ひび割れ補修工										
				式						

(工事費内訳書)

本工事費

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
低圧注入工法									工種 第0010号表	
	1		構造物							
IPH工法									工種 第0011号表	
	75		m							
伸縮継手工									工種 第0012号表	
			式							
鋼製伸縮継手補修									工種 第0013号表	
	13		m							
排水施設工									工種 第0014号表	
			式							
排水管									工種 第0015号表	
	4		基							
水切り工									工種 第0016号表	
	11		m							
構造物撤去工									工種 第0017号表	
			式							
運搬処理工									工種 第0018号表	
			式							

(工事費内訳書)

本工事費

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻運搬（コンクリート）									工種 第0015号表	
	22		m	3						
殻運搬（アスファルト）									工種 第0016号表	
	0.6		m	3						
殻処分（コンクリート）									工種 第0017号表	
	49		t							
殻処分（アスファルト）									工種 第0018号表	
	1		t							
直接工事費										
現場環境改善費（率分）										
率 0.0160										
共通仮設費率計算額										
補正無の率 0.2358										

(工事費内訳書)

本工事費

頁0-0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理 費 補正無の率 0.5896						
			補正後の率 0.7487			
工事原価						
一般管理費 等 補正無の率 0.2042						
			前払率補正 1.0000 契約保証補正 0.0004			
工事価格計						
消費税等 相当額計 率 0.1000						
工事費計						
(参考) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額 率 0.0387						

コンクリート舗装工

工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0008

[illegible]

鋪装版切断

工種明細表

工種 第0002号表

頁0-0009

[illegible]

鋪裝版破碎

工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0010

[illegible]

表層

工種明細表

工種 第0004号表

頁0-0011

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0005号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	とりこわし（橋梁地覆補修）					施工 第0 -0005号表
		1	m3			
	*** 単位当り ***					
		1	m3			

型枠

工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0013

[illegible]

コンクリート

工種明細表

工種 第0007号表

頁0-0014

[illegible]

下地処理

工種明細表

工種 第0008号表

頁0-0015

[illegible]

含浸材塗布

工種明細表

工種 第0009号表

頁0-0016

[illegible]

低压注入工法

工種明細表

工種 第0010号表

頁0-0017

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0011号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ひび割れ補修工（IPH工法）					
		1	m			
	*** 単位当り ***					
		1	m			

工種明細表

工種 第0012号表

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0013号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水管設置工 天板プレート一体型排水装置						
		1	基			
*** 単位当り ***						
		1	基			

水切り工

工種明細表

工種 第0014号表

頁0-0021

[illegible]

殻運搬（コンクリート）

工種明細表

工種 第0015号表

頁0-0022

[illegible]

殻運搬（アスファルト）

工種明細表

工種 第0016号表

頁0-0023

[illegible]

殻処分（コンクリート）

工種明細表

工種 第0017号表

頁0-0024

[illegible]

コンクリート舗装工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0001号表

頁0-0026

1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート切削工 小型切削機	33	m ²			
端部はつり工 人力はつり	1	m ²			
研掃工 ショットブラスト	33	m ²			
接着剤塗布工 スマートボンド同等品 プライマー共	34	m ²			
コンクリート舗装工 超速硬PFRc t=5～7.5cm	33	m ²			
*** 単位当り ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

頁0-0027

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

15.42%

労務構成比：

15cm以下

57.13%

材料構成比：

27.45%

市場単価構成比：

施工 第0 -0002号表

0.00%

1
標準単価：

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音 切削深20cm級 B径56cm	10.49%	供用日		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		
特殊作業員	19.60%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	10.55%	人		土木一般世話役		
普通作業員	8.73%	人		普通作業員		
ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)	23.29%	枚		ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)		
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%	L		ガソリン レギュラー スタンド		

施 工 内 訳 表

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版
機械構成比：

15.42%

労務構成比：

15cm以下
57.13%

材料構成比：

27.45%

市場単価構成比：

施工 第0 -0002号表

0.00%

1
標準単価：

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単 価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
舗装版種別：ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚：15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0029

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

13.49%

労務構成比：

障害等なし

80.49%

材料構成比：

6.02%

市場単価構成比：

施工 第0 -0003号表

0.00%

1
標準単価：

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 ～超低・～排ガス3次 山積0. 4 5 m3	13.49%	日		バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		
土木一般世話役	28.91%	人		土木一般世話役		
運転手 (特殊)	27.69%	人		運転手 (特殊)		
普通作業員	23.89%	人		普通作業員		
軽油 小型ローリー パトロール給油	6.02%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0030

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比：

13.49%

労務構成比：

障害等なし

80.49%

材料構成比：

6.02%

市場単価構成比：

0.00%

施工 第0 -0003号表

標準単価：

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 騒音振動対策：騒音振動対策不要 積込作業の有無：積込作業あり				障害等の有無：障害等なし 舗装版厚：15cm以下 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0031

表層（車道・路肩部）

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 5 0 mm

施工 第0 -0004号表

1 m2 当り

機械構成比： 0.43%

労務構成比： 42.30%

材料構成比： 57.27%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ（舗装用） [ハンドガイド式] 運転質量 0. 5～0. 6 t	0.24%	供用日		振動ローラ（舗装用） [ハンドガイド式]		
振動コンパクタ [前進型] 機械質量 4 0～6 0 k g	0.13%	供用日		振動コンパクタ [前進型]		
特殊作業員	18.71%	人		特殊作業員		
普通作業員	13.40%	人		普通作業員		
土木一般世話役	4.05%	人		土木一般世話役		
⑤再生アスファルト混合物 密粒度（2 0 F） [再生材 混入率50%以下]	52.51%	t		アスファルト混合物 密粒度（2 0）		

施 工 内 訳 表

頁0-0032

表層（車道・路肩部）

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 5 0 mm

施工 第0 -0004号表

1 m2 当り

機械構成比： 0.43%

労務構成比： 42.30%

材料構成比： 57.27%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	4.54%	L		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		
ガソリン レギュラー スタンド	0.16%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
軽油 小型ローリー パトロール給油	0.03%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
平均幅員：1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準締固め後密度：2.35t/m3 材料：再生 密粒度（20F） アスファルト混合物小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				1層当り平均仕上り厚(mm)：50 瀝青材料種類：プライムコート 瀝青材料種類：プライムコート PK-3 アスファルト混合物夜間割増：夜間割増なし		

とりこわし（橋梁地覆補修）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0005号表

頁0-0033

機械構成比： 1.75% 労務構成比： 95.42% 材料構成比： 2.83% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
空気圧縮機 [可搬式・エンジン] 賃料 ～排ガス2次 3. 5～3. 7m3／分	1.36%	日		空気圧縮機 [可搬式・エンジン] 賃料		
さく岩機 [コンクリートブレーカ] 2 0 k g 級	0.39%	供用日		さく岩機 [コンクリートブレーカ]		
特殊作業員	42.75%	人		特殊作業員		
普通作業員	35.87%	人		普通作業員		
土木一般世話役	14.03%	人		土木一般世話役		
軽油 小型ローリー パトロール給油	2.83%	L		軽油 パトロール給油		

とりこわし（橋梁地覆補修）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0005号表

機械構成比： 1.75% 労務構成比： 95.42% 材料構成比： 2.83% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ						

施 工 内 訳 表

頁0-0035

型枠

一般型枠

機械構成比：

0.00%

労務構成比：

小型構造物

100.00%

材料構成比：

0.00%

市場単価構成比：

施工 第0 -0006号表

標準単価：

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	43.77%	人		型わく工		
普通作業員	31.27%	人		普通作業員		
土木一般世話役	11.92%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：小型構造物		

施 工 内 訳 表

頁0-0036

コンクリート 小型構造物

施工 第0 -0007号表

一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設 1 m3 当り
 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 47.07% 材料構成比： 52.93% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	29.15%	人		普通作業員		
土木一般世話役	8.50%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	7.20%	人		特殊作業員		
生コン 24-8-25 (20) -N (W/C=60%以下)	52.93%	m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

コンクリート 小型構造物

一般養生

機械構成比： 0.00% 勞務構成比：

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設

機械構成比： 0.00% 勞務構成比： 47.07% 材料構成比： 52.93% 市場單價構成比： 0.00%

1 m3 当り

標準単価：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0038

表面被覆工（塗装工法）下地処理

施工 第0 -0008号表

1 橋当り延べ施工量7 6m²

1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.730	人			
特殊作業員	1.460	人			
普通作業員	0.730	人			
諸雑費	22.000	%			
*** 単位当り ***	1	橋			
1 橋当り延べ施工量 A（m ² ）：76					

施 工 内 訳 表

頁0-0039

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

施工 第0 -0009号表

1 構造物当り補修延べ延長7.3m

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.234	人			
特殊作業員	7.008	人			
普通作業員	5.183	人			
注入材	9.920	k g			
シール材	9.535	k g			
低圧注入器具	363.000	個			
諸雑費	6.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
1 構造物当り補修延べ延長区分：1 構造物当り補修延べ延長2.5m以上 1 構造物当りの注入材使用量（k g）：9.92 1 構造物当りの低圧注入器具使用量（個）：363			1 構造物当り補修延べ延長 L（m）：73 1 構造物当りのシール材設計量（k g）：6.96 注入材単価（円／k g）： 低圧注入器具単価（円／個）：		
シール材単価（円／k g）：					

施 工 内 訳 表

頁0-0040

橋梁用伸縮継手装置設置工
補修 普通型 2車線相当

施工 第0 -0010号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁用伸縮継手装置設置工 補修 普通型 2車線相当	1.000	m			
橋梁用伸縮継手装置	1.000	m			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m			
施工区分：補修 普通型 2車線相当 橋梁用伸縮継手装置本体計上の有無：橋梁用伸縮継手装置本体計上あり			夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし 伸縮継手装置本体単価（円／m） C＝1時：		

施 工 内 訳 表

頁0-0041

殻運搬

施工 第0 -0011号表

コンクリート(無筋)構造物とりこわし

機械積込 DID区間なし 10.9km以下

1 m3 当り

機械構成比： 41.69% 労務構成比：

43.88% 材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	41.69%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	43.88%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ローリー パトロール給油	14.43%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：コンクリート(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：10.9km以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0042

殻運搬

施工 第0 -0012号表

舗装版破碎 DID区間なし 11.5km以下

機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)

1 m3 当り

機械構成比： 44.95% 労務構成比：

38.97%

材料構成比： 16.08%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	44.95%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	38.97%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ローリー パトロール給油	16.08%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：舗装版破碎 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 運搬距離：11.5km以下		

処分費（t）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0013号表

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円／t）：					

処分費（t）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0014号表

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円／t）：					

令和7年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事

位置図



特記仕様書

工事名：令和7年度 道路メンテナンス事業 堀金 76 号橋補修工事

箇所名：安曇野市 堀金三田

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

- (1) 工事概要は金抜き設計書のとおりとする。
- (2) 本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施にあたっては、「電子納品に係る実施要領」によるものとする。
- (3) 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。利用にあたっては、「情報共有システム実施要領」によるものとする。
- (4) 本工事は発注者指定型週休2日工事の対象工事である。「安曇野市週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休2日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
(参考)「安曇野市週休2日工事実施要領」
- (5) 本工事は「ICT活用工事の実施方針」に基づき、ICT技術の活用が可能な建設工事である。実施にあたっては、各工種の「ICT活用工事実施要領（国土交通省）」によるものとする。
(参考)「ICT活用工事の実施方針・実施要領」
- (6) 本工事は、「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアップシステム活用試行工事である。
(参考)「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」
- (7) 上記(2)(5)(6)の実施または活用の希望にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙-2『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。

2 工期関係

工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日）から起算して220日間とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	60 日間
② 後片付け期間	20 日間
③ 雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数	0.77

著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 発生土・廃棄物関係

- (1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

- (2) 建設発生土 【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
〇〇	円/m ³	〇〇 km	

上記の搬出先について、原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。

- (3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等				
アスファルト塊		再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離	8.9	km
			数 量	49	t	・	m ³
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離	8.9	km
			数 量	1	t	・	m ³
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³
	二次 製品	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³
建設発生木材			処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

- (4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
木くず (抜根・伐採材)		再利用	処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	
汚 泥			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	
その他（金属クズ他）			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※積算に用いる木くず処理量の体積 — 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用いる。なお、体積(m³)での確認となる場合は、体積を確認できるよう1台毎写真管理すること。

※伐採材については、有価売却を検討すること。

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記(3)、(4)に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通学路に係る周知。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路などの確認。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。（ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。）	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。 また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。 また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様

あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事に係る事	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- ① 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- ② 不可視部分の施工は監督員の立ち合い確認を求めること。
- ③ 本工事は全面通行止めでの作業を想定している。
- ④ 水路管理者と事前協議を行うこと。
- ⑤ 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を完了時まで報告すること。
- ⑥ 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。
 - ア 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙ー5の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。

選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
 - イ この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。

積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
 - ウ この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。
 - エ 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。
 - オ 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。
- ⑦ 本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。
 - ア 境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。
 - イ 境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- ⑧ その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和7年7月1日適用版

資材単価等について

令和7年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和7年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

[illegible]

§ 5. 数量計算

5.1 数量計算

堀金76号橋 橋梁補修工 数量総括表 (1)						
工 種	細 別	規 格	単位	設計値	数 量	備 考
舗装打換工						
打換工	コンクリート舗装工	超速硬有機繊維コンクリート	m2	33	32.9	
舗装打換工						
切断工	As舗装	t=5cm	m	11	11.0	
破碎工	As舗装	t=5cm	m2	12	12.0	
打換工	密粒度As20F	t=5cm	m2	12	12.0	
地覆補修工						
打換工	橋梁地覆取壊し		m2	0.1	0.1	
	型枠		m2	1	1.0	
	コンクリート	24-8-25N	m3	0.1	0.1	
表面含浸工						
	下地処理	51.1+25.0=76.1	m2	76	76.1	
	含浸材塗布	51.1+25.0=76.1	m2	76	76.1	高分子系浸透性防水材
ひびわれ注入工	低圧注入工		m	73	72.50	
	シーリング材		kg	6.96	6.96	
	注入器具		本	363	363	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	9.92	9.92	ロス率15%
	IPH工法		m	75	74.90	
伸縮装置設置工						
取替工	鋼製 非排水	プロジョイントCDx型-20用 耐ゲレーター用	m	13	13.0	同等品

名 称	計 算 式	単位	数 量
<上部工>			
舗装打換工	※ 上部工補修図(1) 参照		
▪ 切削工	Con舗装切削工 (t=5~7.5cm) cad求積 A = 32.90	m2	32.9
▪ 端部はつり工	人力はつり A = 1.20	m2	1.2
▪ 研掃工	ショットブラスト A = 32.90	m2	32.9
▪ 接着剤塗布工	スマートホント® 同等品 図面より A = 34.14	m2	34.1
▪ 打換工	コンクリート舗装材：超速硬PFRC (t=5~7.5cm) cad求積 A = 32.90	m2	32.9
地覆補修工	※ 上部工補修図(4) 参照		
合計	取り壊し V = 0.05 + 0.08	m3	0.13
	型枠 A = 0.43 + 0.59	m2	1.02
	コンクリート(24-8-25N) V = 0.05 + 0.08	m3	0.13
表面含浸工	アイゾール同等品 数量表より		
	下地処理 A = 16.5 (地覆+床版側面) + 34.6 (床版下面)	m2	51.1
	含浸材塗布 A = 16.5 (地覆+床版側面) + 34.6 (床版下面)	m2	51.1
ひびわれ注入工	低圧注入工：エポキシ樹脂系 後出ひびわれ注入数量計算書参照		
▪ 延長	L =	m	72.50
▪ シール工	W =	kg	6.96
▪ 注入器具	N =	本	363
▪ 注入材	W =	kg	9.92

名 称	計 算 式	単位	数 量
伸縮装置取替工	※ 上部工補修図(2) 参照 後出伸縮継手数量計算書参照 鋼製：フﾟロヅﾟョイントCDx型ー20用 耐ｸﾞﾚｰﾀﾞｰ用(同等品) $L = 7.36 + 5.65$	m	13.02
	橋面, 胸壁取り壊し：コンクリート $V = 0.09 \times (0.30 + 0.35) \times (7.36 + 5.65)$	m3	0.76
排水管取替工 ・ 設置工	※上部工補修図(3) 参照 天板ﾌﾟﾚｰﾄー体型排水装置 (TS-PL_PIPE-L SUS304同等品) $N =$	基	4
水切り工 ・ 水切り工	※上部工補修図(3) 参照 後接着型水切材 W25×H20 ウォーターカッター同等品 $L = 5.870 + 2.525 + 3.015$	m	11.41

上部工ひびわれ注入工 数量計算書

名 称	計 算 式	単位	数 量								
・ 延長 ・ シール工	L =	m	72.5								
	エポキシ樹脂接着剤 W= 0.096 kg/m										
	Σ W= 72.5 m × 0.096 kg/m	kg	6.96								
	仮定するシール工単位数量根拠										
	<table><tr><td>b シール幅</td><td>0.03 m</td></tr><tr><td>h シール高</td><td>0.002 m</td></tr><tr><td>α 比重</td><td>1600 kg/m3</td></tr><tr><td>W= b×h×α</td><td>0.096 kg/m</td></tr></table>	b シール幅	0.03 m	h シール高	0.002 m	α 比重	1600 kg/m3	W= b×h×α	0.096 kg/m		
b シール幅	0.03 m										
h シール高	0.002 m										
α 比重	1600 kg/m3										
W= b×h×α	0.096 kg/m										
・ 注入器具	ひびわれ注入用インジェクター 設置間隔 = 200 mm 本数 N = 72.50 m ÷ 0.20 m	本	363								
・ 注入材	エポキシ樹脂系 Σ W= 0.015 m3 × 1/2 × 1150 kg/m3 × 1.15 (比重) (ロス率)	kg	9.92								
●低圧注入工数量表 ※上部工補修図(4)参照											

●伸縮継手数量計算書 堀金76号橋

1. 伸縮継手装置 (SS400 + 合成ゴム + 弾性シール材)

A1 ブロフジョイントCDx型-20用樋付 耐グレーダー用 L = 7.361 m

A2 ブロフジョイントCDx型-20用樋付 耐グレーダー用 L = 5.654 m

2. シール材 (シリコン系)

A1 サイズ 20.0 mm × 20.0 mm L = 639 mm

$$V = 2.00\text{cm} \times 2.00\text{cm} \times 63.9\text{cm} \div 1000 = 0.26 \text{ リッター}$$

A2 サイズ 20.0 mm × 20.0 mm L = 678 mm

$$V = 2.00\text{cm} \times 2.00\text{cm} \times 67.8\text{cm} \div 1000 = 0.27 \text{ リッター}$$

合計 0.53 リッター

3. バックアップ材

A1 □50 × 639 mm n = 1 本

A2 □50 × 678 mm n = 1 本

合計 1,317 mm

4. 超速硬コンクリート

$$\begin{aligned} A1 \quad V &= 7.361\text{m} \times 0.300\text{m} \times (0.090\text{m} + 0.090\text{m}) \div 2 \\ &+ 7.361\text{m} \times 0.350\text{m} \times (0.090\text{m} + 0.090\text{m}) \div 2 \\ &= 0.431 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} A2 \quad V &= 5.654\text{m} \times 0.300\text{m} \times (0.090\text{m} + 0.090\text{m}) \div 2 \\ &+ 5.654\text{m} \times 0.350\text{m} \times (0.090\text{m} + 0.090\text{m}) \div 2 \\ &= 0.331 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

合計 0.762 m³

5. 通し筋 (SD345)

A1 車道部 D16 × 7440 mm n = 4 本

A1 合計 D16 × 29760 mm

A2 車道部 D16 × 5600 mm n = 4 本

A2 合計 D16 × 22400 mm

合計 52,160 mm

6. コンクリートアンカー (SD345)

A1 上下部工側 D16用 n = 116 本

A2 上下部工側 D16用 n = 88 本

合計 204 本

7. CDx型用接着剤

A1 20用 n = 1 式

A2 20用 n = 1 式

合計 2 式

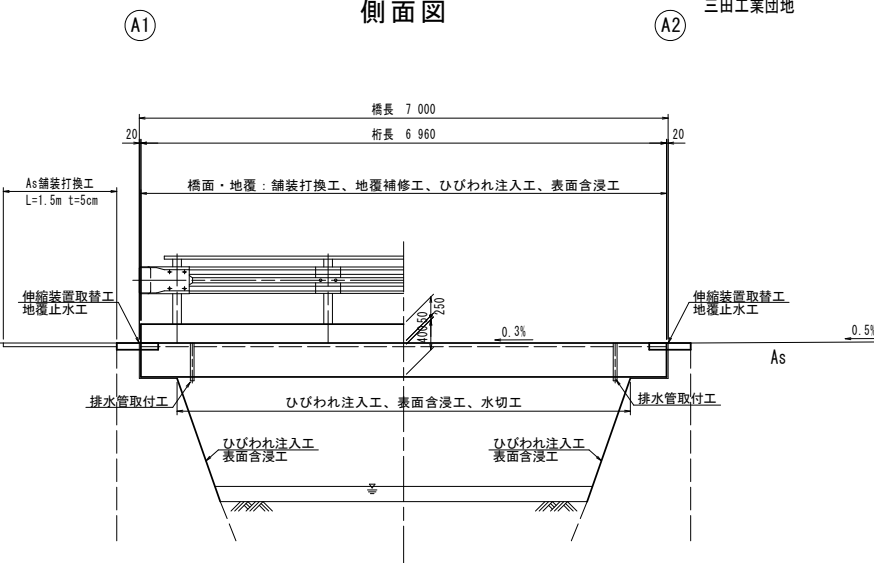
名 称	計 算 式	単 位	数 量
<下部工> ひびわれ注工	※下部工補修図参照 IPH工法：エポキシ樹脂系 ・延長 $L = 38.40 + 36.50$	m	74.9
表面含浸工	※下部工補修図参照 アイソール同等品 数量表より 下地処理 A = 含浸材塗布 A =	m2 m2	25.0 25.0
●IPH工法 数量表			
合計	$\Sigma L = 38.4 + 36.5$	m	74.90

名 称	計 算 式	単位	数 量
<取付道路> 舗装打換工	※ 上部工補修補修図(1) 参照		
・ 舗装切断工	アスファルト t=5cm 起点側 $L = 1.5 + 1.5 + 8.0$	m	11.0
・ 舗装破碎工 As舗装	t=5cm $A = 1.5 \times 8.0$	m2	12.0
・ 舗装打換工 As舗装	密粒度As20F t=5cm $A = 1.5 \times 8.0$	m2	12.0

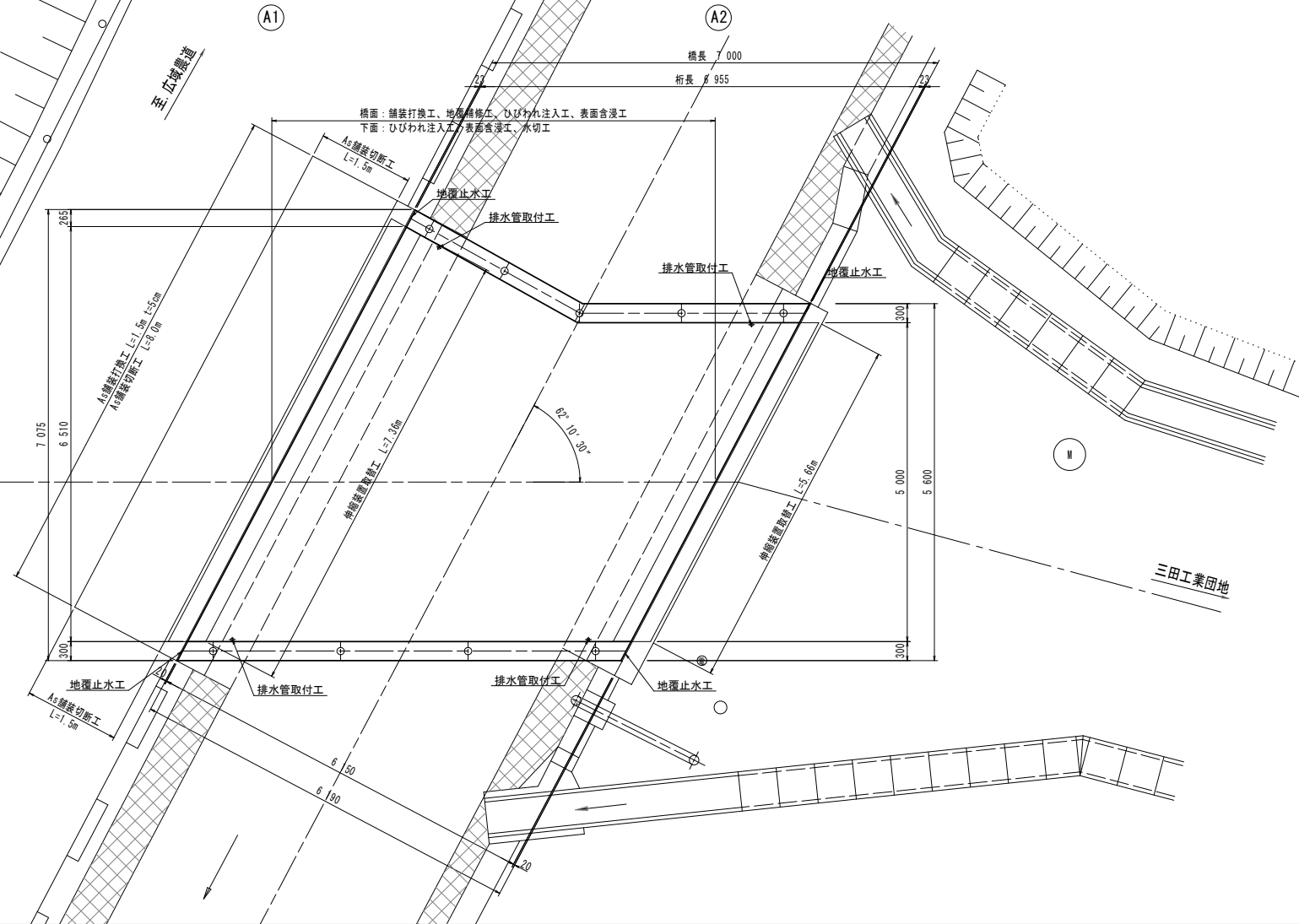
名 称	計 算 式					単位	数 量																																				
<廃棄物処理工> ・ コンクリート ・ アスファルト	<table><tr><th>工種</th><th>面積 m2</th><th>厚さ, 長さ m</th><th>体積 m3</th><th>単位質量 t/m3</th><th>質量 t</th></tr><tr><td>舗装(切削)</td><td>32.9</td><td>0.625</td><td>20.56</td><td>2.30</td><td>47.3</td></tr><tr><td>伸縮装置</td><td>－</td><td>－</td><td>0.76</td><td>2.30</td><td>1.7</td></tr><tr><td>地覆補修</td><td>－</td><td>－</td><td>0.13</td><td>2.30</td><td>0.3</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>21.5</td><td></td><td>49.3</td></tr></table>					工種	面積 m2	厚さ, 長さ m	体積 m3	単位質量 t/m3	質量 t	舗装(切削)	32.9	0.625	20.56	2.30	47.3	伸縮装置	－	－	0.76	2.30	1.7	地覆補修	－	－	0.13	2.30	0.3							計			21.5		49.3		
	工種	面積 m2	厚さ, 長さ m	体積 m3	単位質量 t/m3	質量 t																																					
	舗装(切削)	32.9	0.625	20.56	2.30	47.3																																					
	伸縮装置	－	－	0.76	2.30	1.7																																					
	地覆補修	－	－	0.13	2.30	0.3																																					
	計			21.5		49.3																																					
	・ 運搬工					m3	21.5																																				
	・ 処理工					t	49.3																																				
	<table><tr><th>工種</th><th>面積 m2</th><th>厚さ m</th><th>体積 m3</th><th>単位質量 t/m3</th><th>質量 t</th></tr><tr><td>取付道路</td><td>12.0</td><td>0.05</td><td>0.60</td><td>2.30</td><td>1.4</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>0.60</td><td></td><td>1.4</td></tr></table>					工種	面積 m2	厚さ m	体積 m3	単位質量 t/m3	質量 t	取付道路	12.0	0.05	0.60	2.30	1.4	計			0.60		1.4																				
工種	面積 m2	厚さ m	体積 m3	単位質量 t/m3	質量 t																																						
取付道路	12.0	0.05	0.60	2.30	1.4																																						
計			0.60		1.4																																						
・ 運搬工					m3	0.6																																					
・ 処理工					t	1.4																																					

堀金76号橋 補修計画図 S=1:50

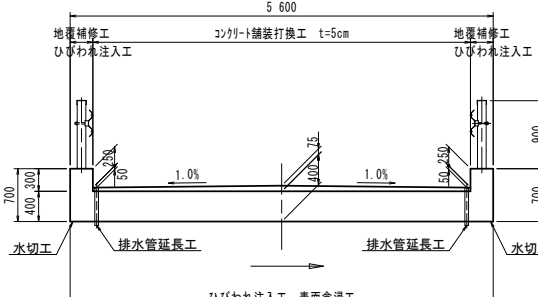
側面図



平面图

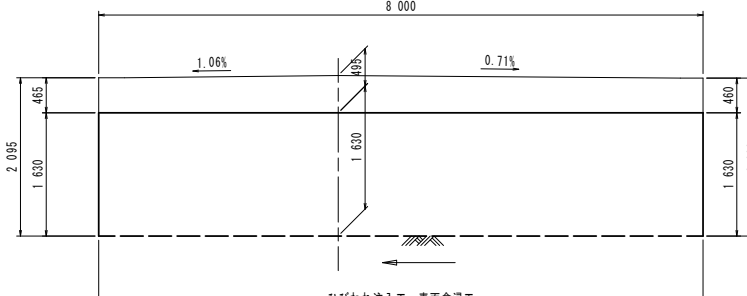


上部工断面図

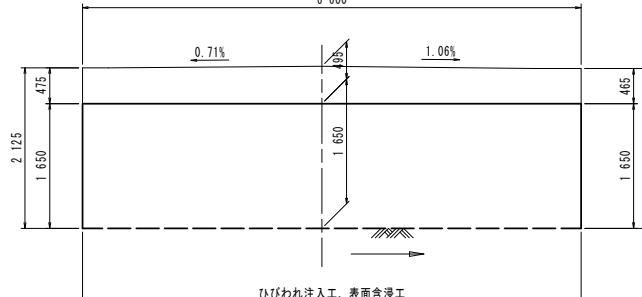


下部工正面図

A1橋台



A2橋台



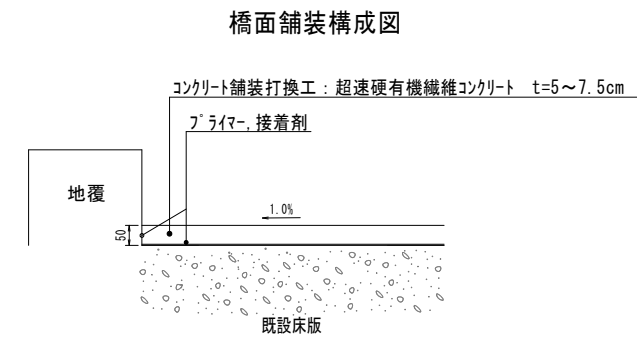
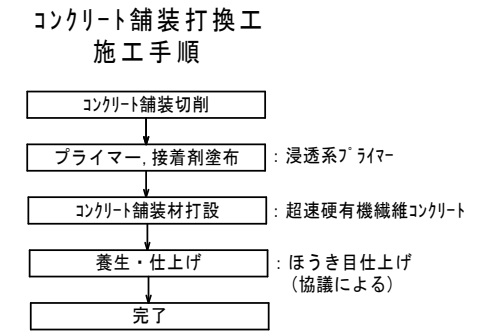
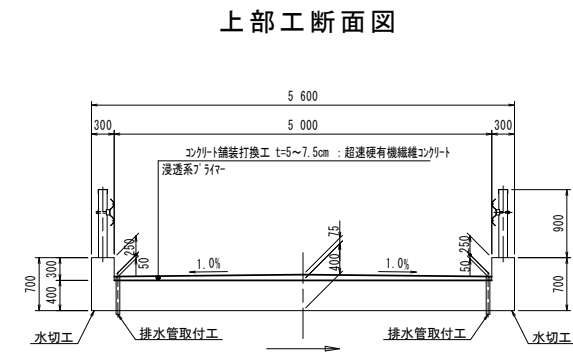
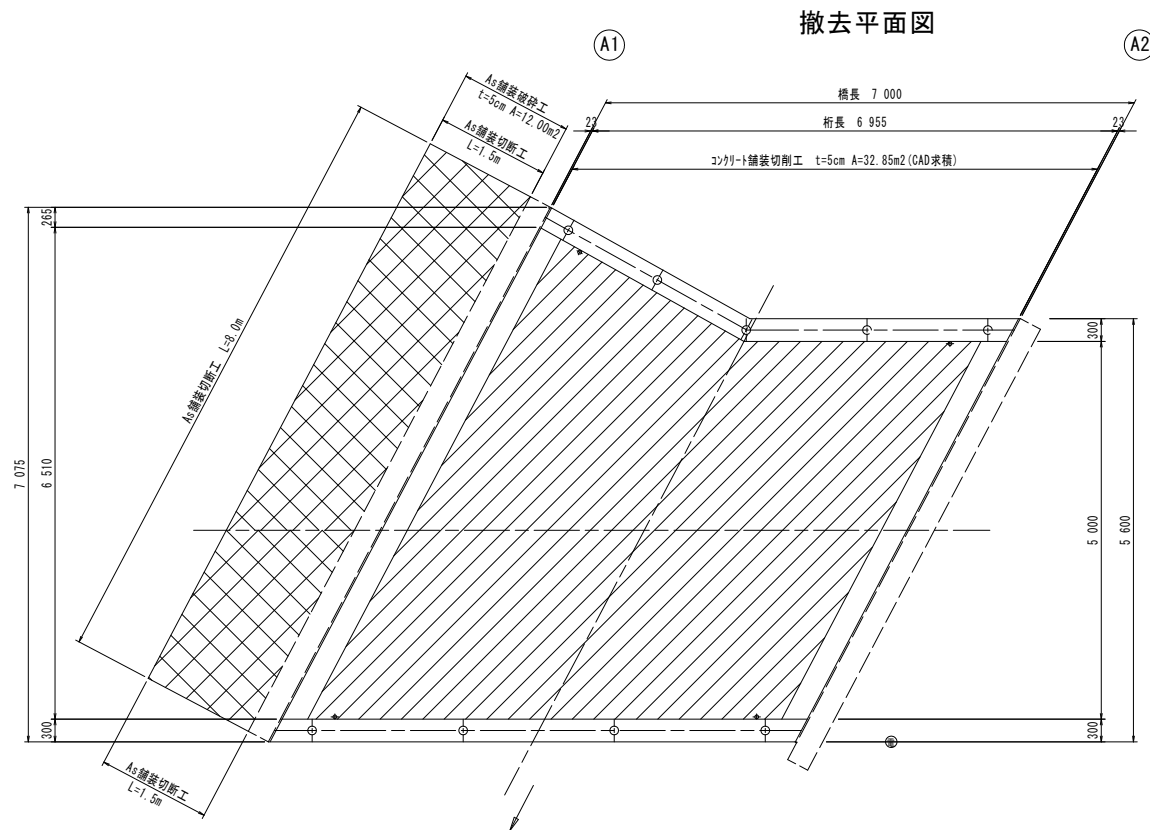
令和 7年 3月31日時点

現場制約事項	1. 河川協議（管理者） 2. 作業不可能時期（農繁期等）
おい 無	

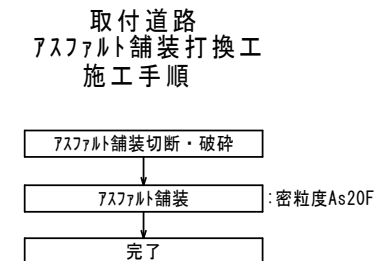
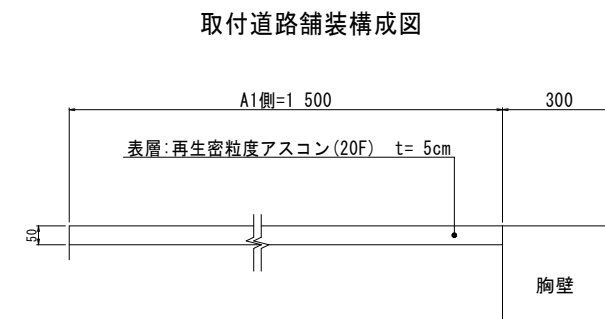
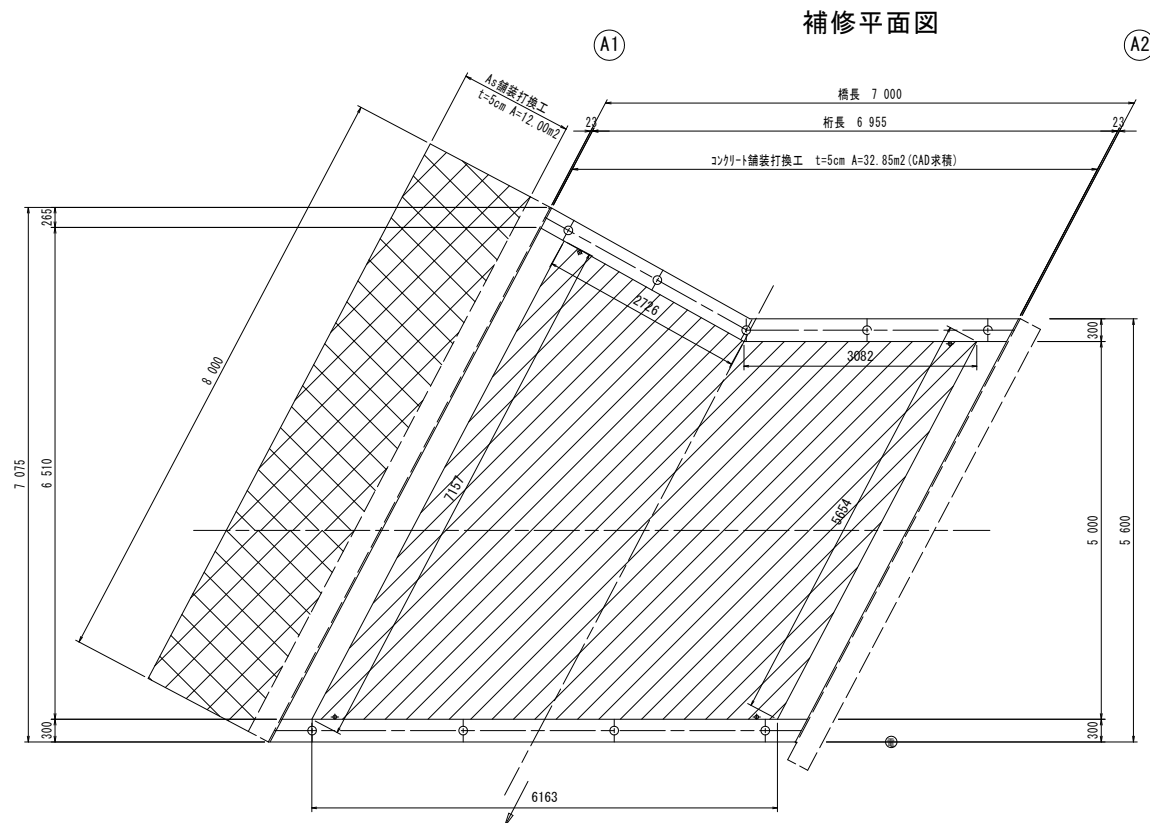
関係地権者等との調整事項	有	無
--------------	---	---

令和6年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事			
番号	1 / 6	補修計画図	縮尺 図示
市道堀金1442号線			
安曇野市 堀金三田 堀金76号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

舖裝打換工



- | | | |
|---------------|-------------------|--|
| ・コンクリート切削工 | Con舗装 (t=5~7.5cm) | A=32.9 m2 (CAD求積) |
| ・端部はつり工 | 人力はつり W=0.1m | A= (6.16+2.73+3.08) × 0.1=1.20 m2 |
| ・研掃工 | ショットブラスト | A=32.9 m2 (CAD求積) |
| ・接着剤、浸透系プライマー | | A=32.9+0.05 × (6.16+2.73+3.08+5.65+7.16) =34.14 m2 |
| ・舗装工 | Con舗装 (t=5~7.5cm) | A=32.9 m2 (CAD求積) |



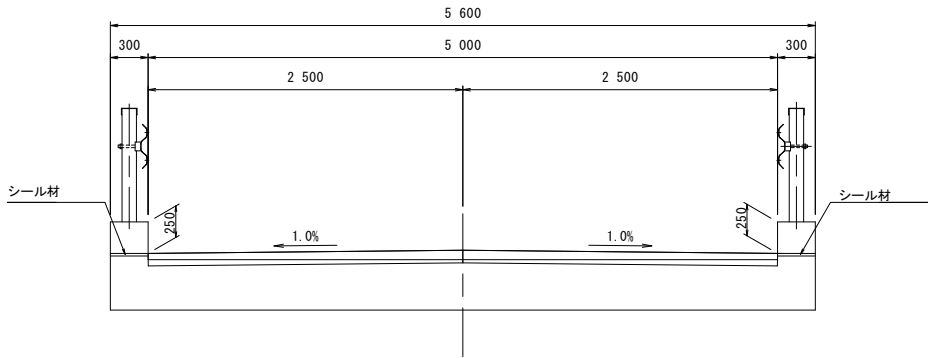
- A1
- 鋪裝版切斷工 As鋪裝(t=5cm) $L = 1.5 + 1.5 + 8.0 = 11.0 \text{ m}$
 - 鋪裝版破砕工 As鋪裝(t=5cm) $A = 1.5 \times 8.0 = 12.0 \text{ m}^2$
 - 鋪裝工 As鋪裝(t=5cm) $A = 1.5 \times 8.0 = 12.0 \text{ m}^2$

※打換範囲は、現地にて監督員と確認の上最終決定すること。

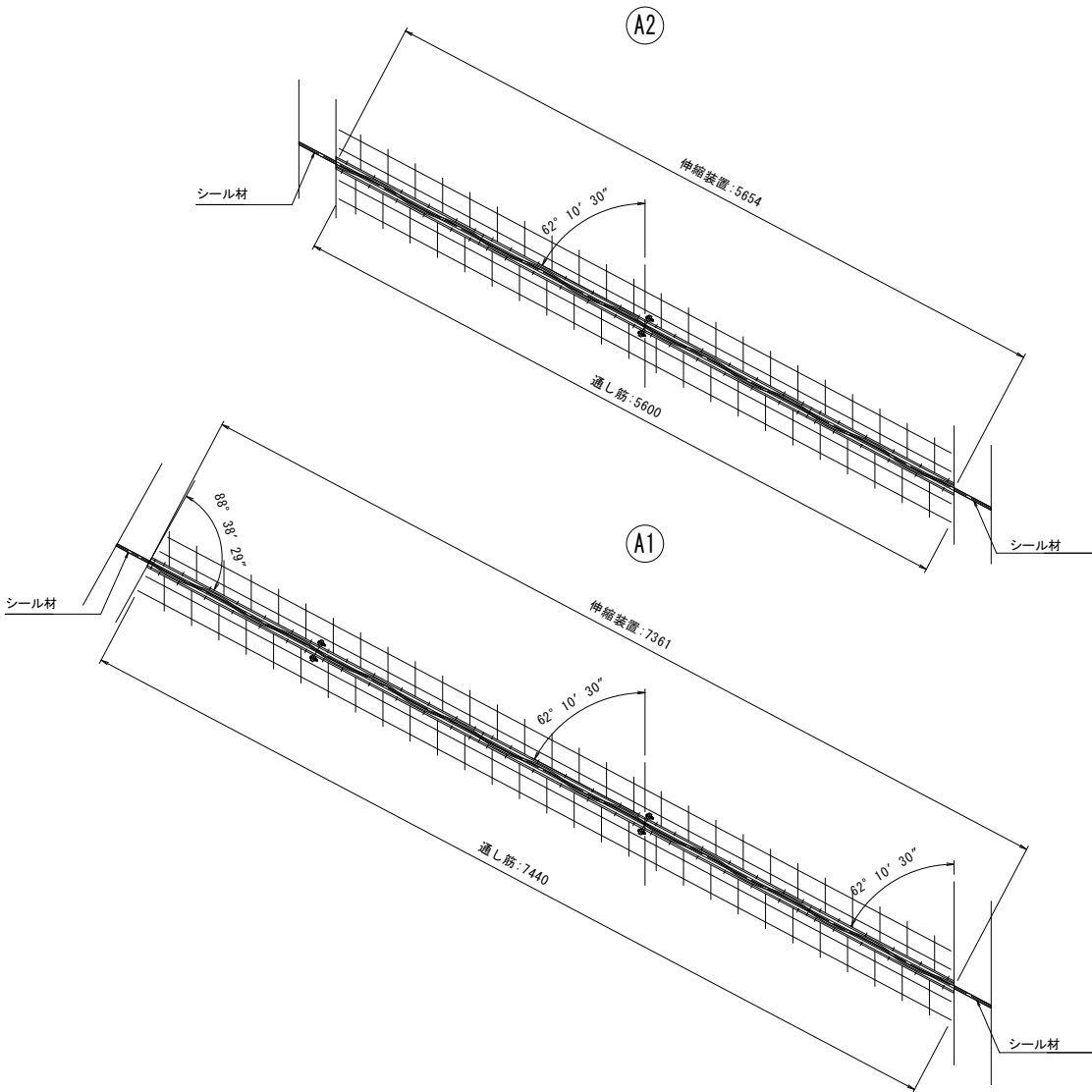
令和6年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事			
番号	2 / 6	上部工補修図(1)	橋尺 図示
市道堀金1442号線			
安曇野市 堀金三田 堀金76号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市役所			

堀金76号橋 上部工補修図(2) S=1:50
伸縮装置取替工

断面図 S=1:30



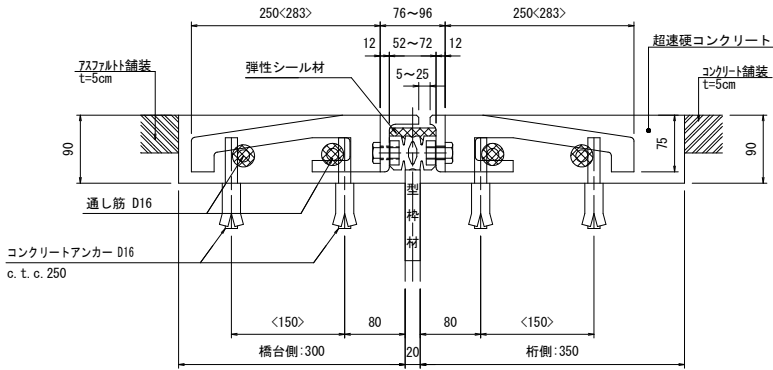
平面図 S=1:30



※現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

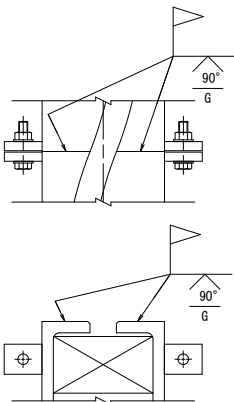
伸縮装置断面図 S=1:5

プロフジョイントCDx型-20用同等品
A1, A2部 耐グレーダー用

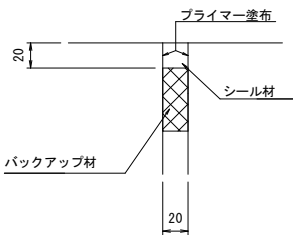


⊗ : 現場接合位置
※<>内寸法は、橋軸方向を示す。

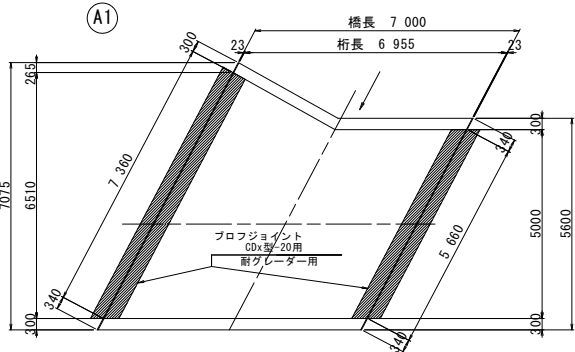
現場接合部詳細



シーリング材充填図 S=1:3



位置図 S=1:80



伸縮装置材料表

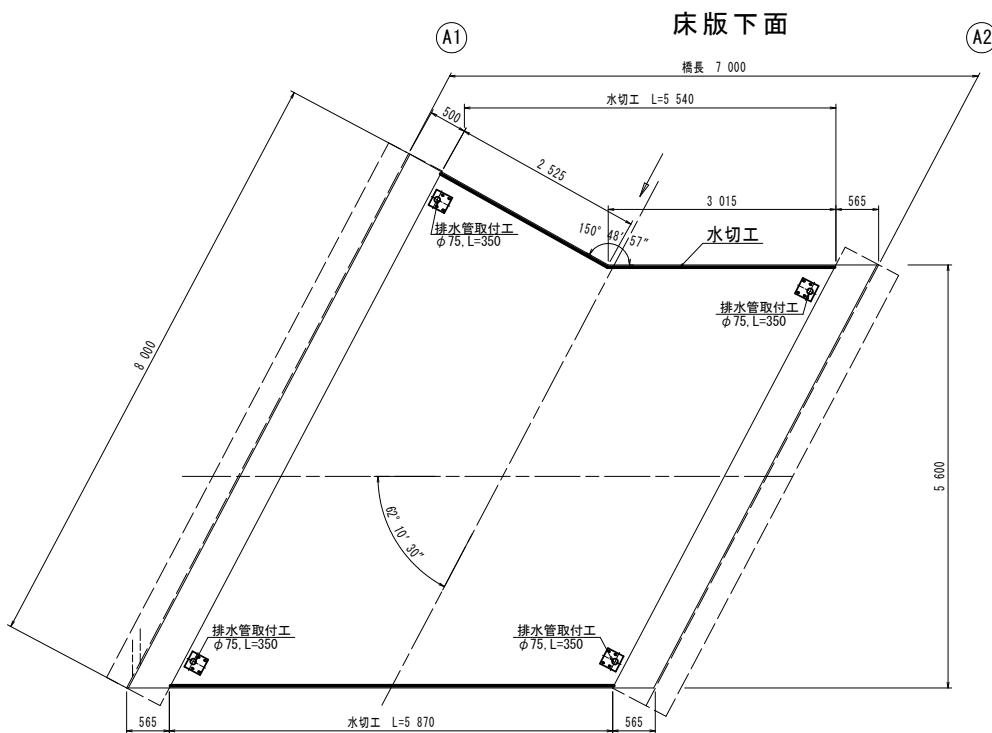
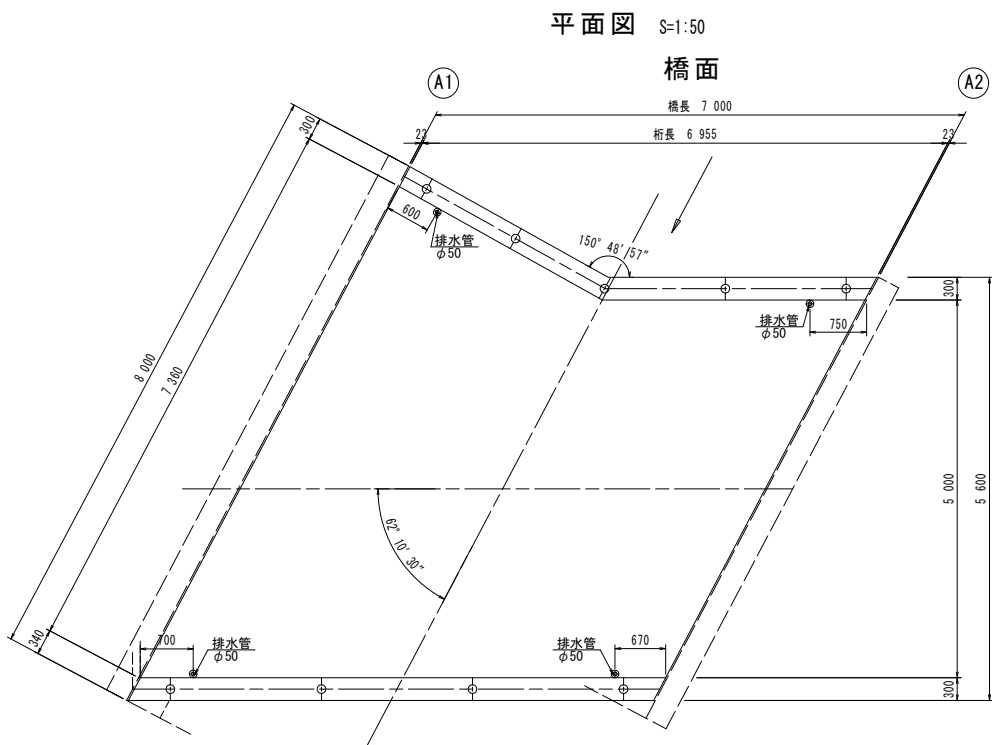
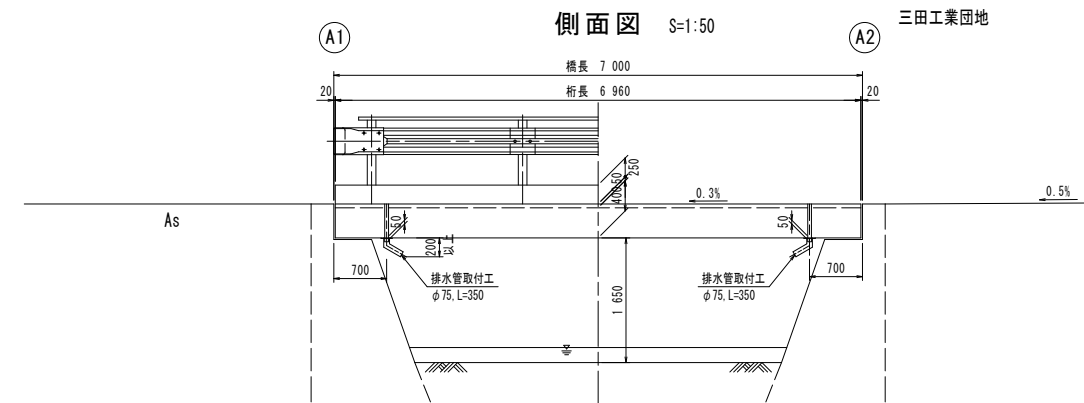
名 称	材 質	単 位	A1	A2	合 計	備 考
プロフジョイントCDx型-20用	SS400 合成ゴム 弾性シーリング材	m	7.361	5.654	13.015	耐グレーダー用

※1 カッター幅及びはつり深さは、現場確認の上、決定のこと。
※2 現地確認後、タイプ及び製作長など決定のこと。

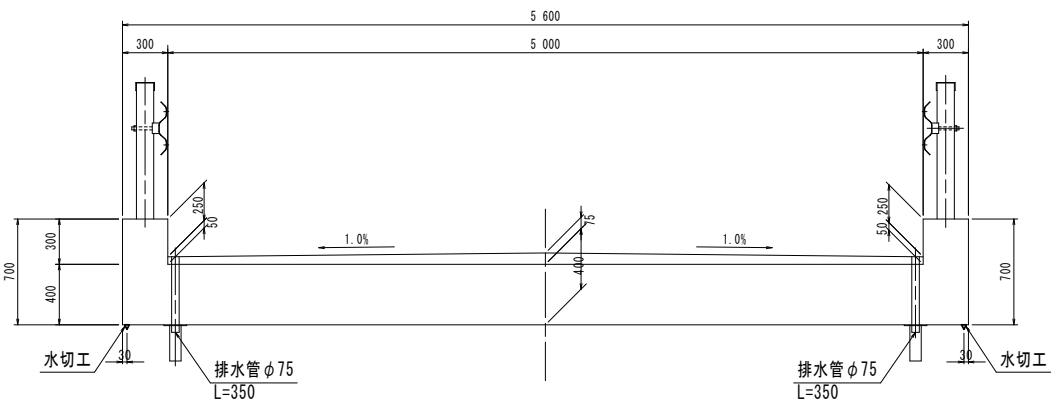
令和6年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事				
番号	3 / 6	上部工補修図(2)	縮尺	図示
市道堀金1442号線				
安曇野市 堀金三田 堀金76号橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				

堀金76号橋 上部工補修図(3)

排水管取付工、水切工



断面図 S=1:25

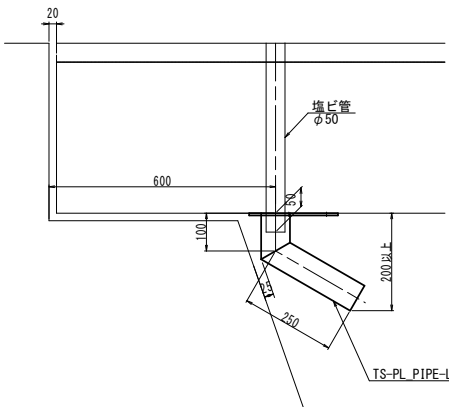


排水管取付工 S=1:10

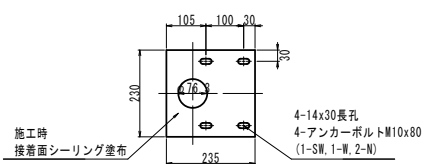
TSステンレス排水装置 (NETIS-CB-190003-A) 同等品

天板プレート型排水装置
TS-PL_PIPE-L 製作数=4

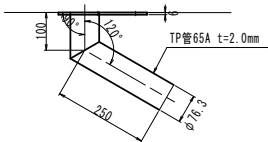
断面図



平面図



断面図

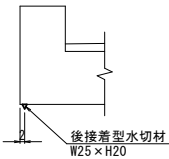


- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート型排水装置は、NETIS No. CB-190003-Aに準ずる。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

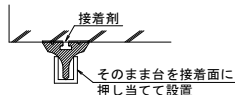
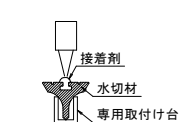
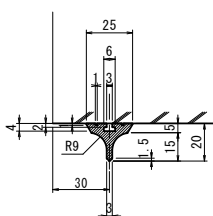
水切工

ウォーターカッター (NETIS-KK-180012-VE) 同等品

断面図 S=1:25



詳細断面図 S=1:2



施工手順



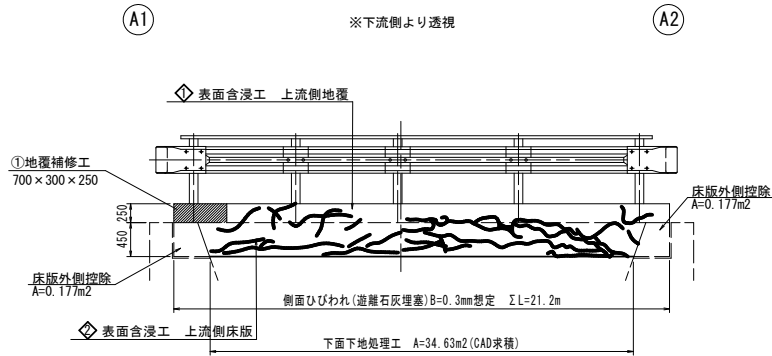
・水切り工延長
L= 5.870+2.525+3.015 =11.41m

令和6年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事				
番号	4 / 6	上部工補修図(3)	総頁	図示
市道堀金1442号線				
安曇野市 堀金三田 堀金76号橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				

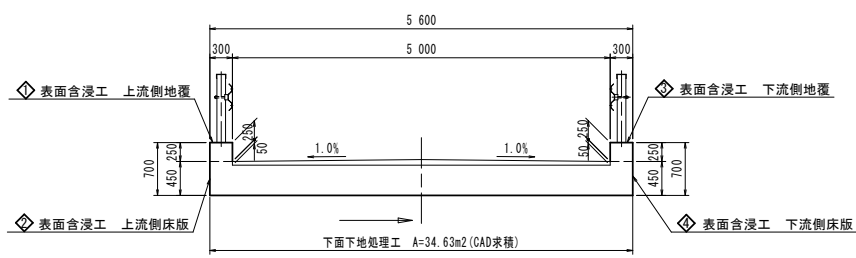
堀金76号橋 上部工補修図(4) S=1:50

断面修復工, ひびわれ注入工, 表面含浸工

上流側 側面図



断面図



〈断面修復工〉

①地覆補修工

- ・コンクリート取壊し $V=0.70 \times 0.25 \times 0.30=0.05\text{m}^3$
- ・型枠 $A=(0.70 \times 2+0.30) \times 0.25=0.43\text{m}^2$
- ・コンクリート打設 (24-8-25N) $V=0.70 \times 0.25 \times 0.30=0.05\text{m}^3$

②地覆補修工

- ・コンクリート取壊し $V=1.00 \times 0.30 \times 0.25=0.08\text{m}^3$
- ・型枠 $A=1.00 \times (0.25 \times 2)+0.34 \times 0.25=0.59\text{m}^2$
- ・コンクリート打設 (24-8-25N) $V=1.00 \times 0.30 \times 0.25=0.08\text{m}^3$

〈表面含浸工〉

●表面含浸工数量表

番号	計算式	面積 (㎡)
①	$(0.30+0.25 \times 2) \times 6.558+(0.30+0.34) \times 0.25$	5.41
②	0.45×6.562	2.95
③	$(0.30+0.25 \times 2) \times 6.955+(0.34+0.34) \times 0.25$	5.73
④	0.45×6.955	3.13
控除	0.177×4	-0.71
合計		16.51

〈ひびわれ注入工〉

●低圧注入工 数量

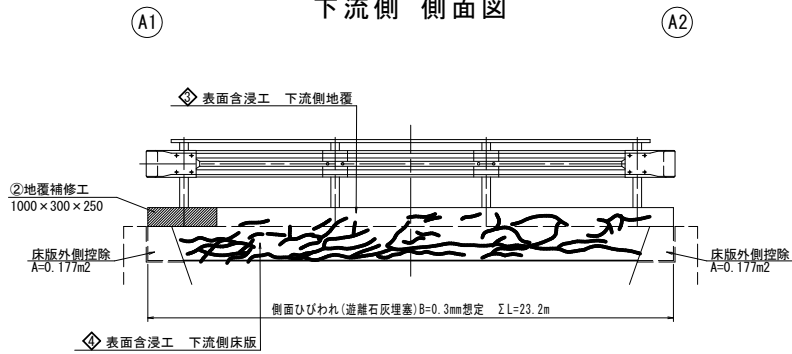
番号	幅 (mm)	深さ (m)	延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
1	5.00	0.25	7.60	0.03800	0.009500
2	2.00	0.25	5.20	0.01040	0.002600
3	0.50	0.10	59.70	0.02985	0.002985
計			72.50	0.078	0.015

※ひびわれ深さは、一般社団法人コンクリートメンテナンス協会のひびわれ深さの推定方法により算出。
ひびわれ幅0.2mm~1.75mm：ひびわれ深さ=ひびわれ幅×200
ひびわれ幅1.75mmより大きい：ひびわれ深さ=350mm→※本設計では地覆高250mm(max)

〈下地処理工〉 床版下面

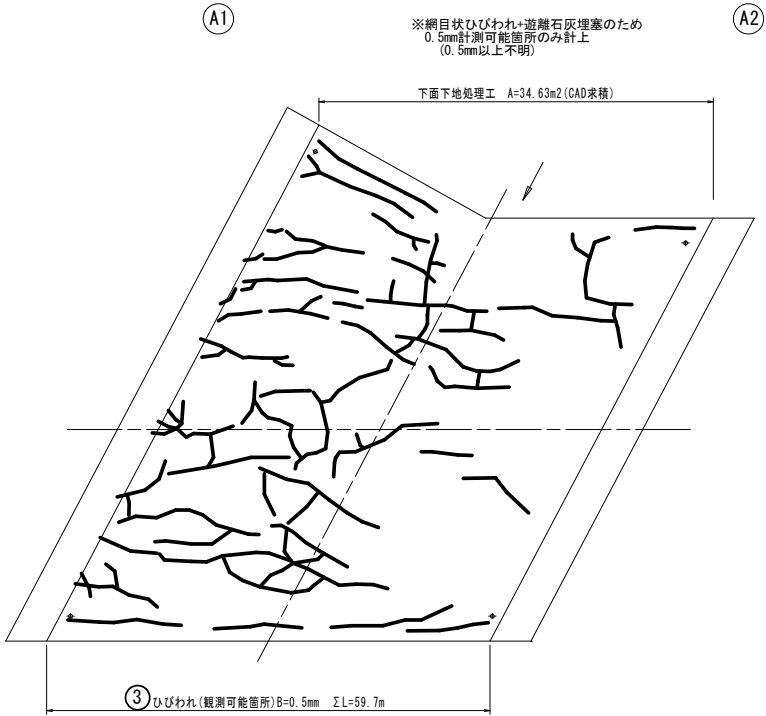
下地処理工 (CAD求積) A= 34.63m²

下流側 側面図



平面図

床版下面



※下地処理の際には、コンクリート表面の付着物や遊離石灰等を完全に除去すること。
※ひびわれ注入工、表面含浸工の範囲数量は、現地を確認の上、
監督員立ち会いのもと最終決定すること。

令和G年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事				
番号	5 / 6	上部工補修図(4)	総頁	図示
市道堀金1442号線				
安曇野市 堀金三田 堀金76号橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				

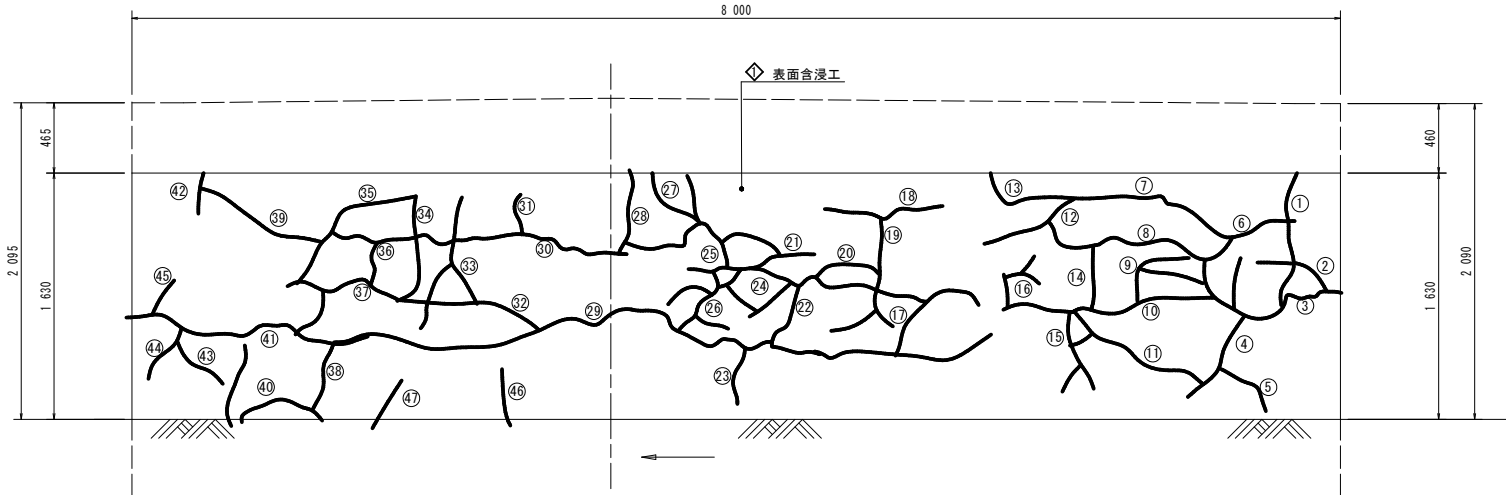
堀金76号橋 下部工補修図

ひびわれ注入工, 表面含浸工

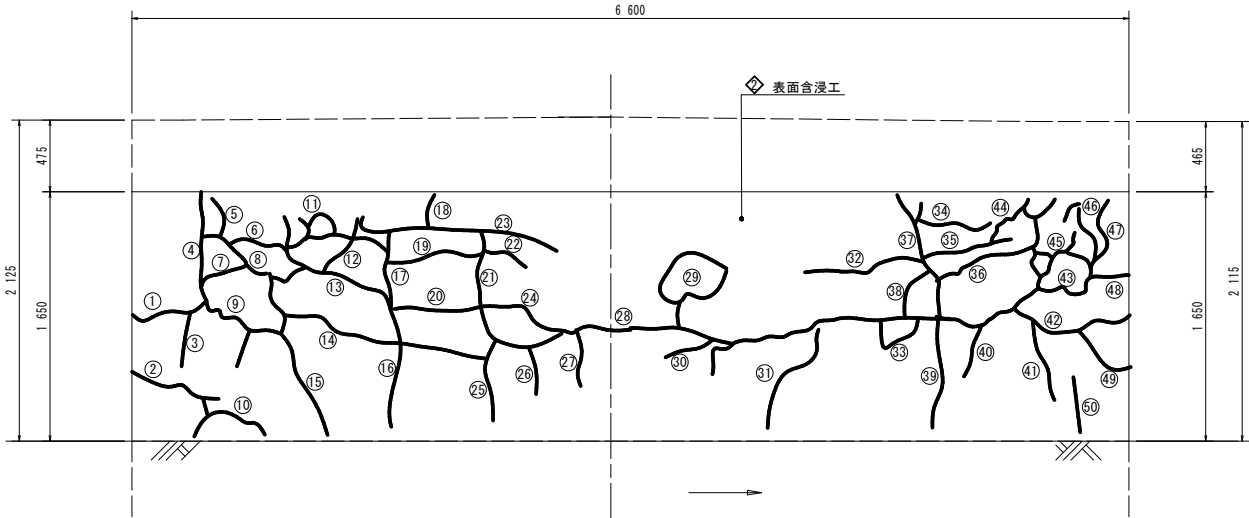
〈ひびわれ注入工〉
IPH工法同等品

正面図 S=1:25

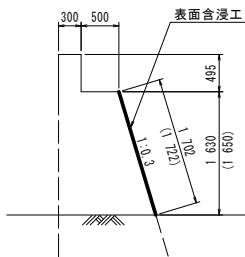
A1橋台



A2橋台



〈表面含浸工〉 S=1:50



●表面含浸工数量表

番号	計算式	面積 (m ²)
◇	1.702 × 8.00	13.62
◇	1.722 × 6.60	11.37
合計		24.99

A1橋台

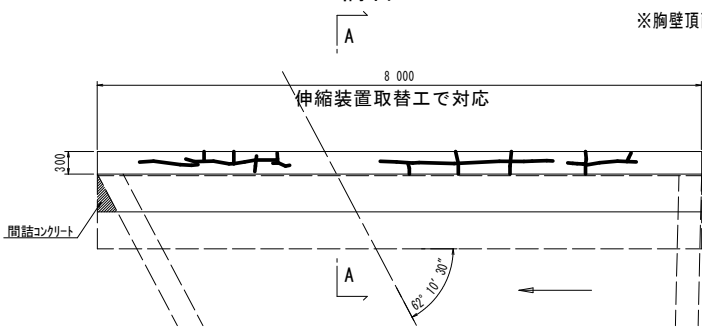
番号	幅 (mm)	深さ (m)	延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
1	0.80	0.16	0.80	0.00064	0.0001024
2	0.20	0.04	0.20	0.00004	0.0000016
3	7.00	0.35	0.80	0.00560	0.0019600
4	1.20	0.24	0.60	0.00072	0.0001728
5	1.50	0.30	0.50	0.00075	0.0002250
6	0.50	0.10	0.70	0.00035	0.0000350
7	0.80	0.16	1.10	0.00088	0.0001408
8	1.00	0.20	1.10	0.00110	0.0002200
9	0.20	0.04	1.20	0.00024	0.0000096
10	2.00	0.35	1.20	0.00240	0.0008400
11	2.00	0.35	1.00	0.00200	0.0007000
12	0.30	0.06	0.60	0.00018	0.0000108
13	0.40	0.08	0.30	0.00012	0.0000096
14	0.20	0.04	0.70	0.00014	0.0000056
15	0.30	0.06	0.70	0.00021	0.0000126
16	0.20	0.04	0.70	0.00014	0.0000056
17	4.00	0.35	3.40	0.01360	0.0047600
18	0.50	0.10	0.80	0.00040	0.0000400
19	0.50	0.10	0.60	0.00030	0.0000300
20	0.40	0.08	0.50	0.00020	0.0000160
21	0.50	0.10	1.00	0.00050	0.0000500
22	0.30	0.06	0.50	0.00015	0.0000090
23	0.50	0.10	0.80	0.00040	0.0000400
24	1.20	0.24	1.00	0.00120	0.0002880
25	1.00	0.20	0.50	0.00050	0.0001000
26	0.30	0.06	0.70	0.00021	0.0000126
27	0.50	0.10	0.50	0.00025	0.0000250
28	1.60	0.32	0.50	0.00080	0.0002560
29	5.00	0.35	3.00	0.01500	0.0052500
30	1.50	0.30	1.70	0.00255	0.0007650
31	0.30	0.06	0.40	0.00012	0.0000072
32	1.50	0.30	0.80	0.00120	0.0003600
33	0.30	0.06	0.70	0.00021	0.0000126
34	0.30	0.06	0.70	0.00021	0.0000126
35	0.30	0.06	0.90	0.00027	0.0000162
36	0.30	0.06	0.30	0.00009	0.0000054
37	0.50	0.10	0.80	0.00040	0.0000400
38	0.50	0.10	0.40	0.00020	0.0000200
39	0.50	0.10	0.80	0.00040	0.0000400
40	1.00	0.20	0.50	0.00050	0.0001000
41	5.00	0.35	2.10	0.01050	0.0036750
42	1.10	0.22	0.40	0.00044	0.0000968
43	0.20	0.04	0.40	0.00008	0.0000032
44	0.80	0.16	0.40	0.00032	0.0000512
45	1.20	0.24	0.30	0.00036	0.0000864
46	0.50	0.10	0.20	0.00010	0.0000100
47	0.50	0.10	0.60	0.00030	0.0000300
計			38.40	0.067	0.021

A2橋台

番号	幅 (mm)	深さ (m)	延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
1	3.00	0.35	0.60	0.00180	0.0006300
2	4.00	0.35	0.80	0.00320	0.0011200
3	0.80	0.16	0.60	0.00048	0.0000768
4	0.70	0.14	0.70	0.00049	0.0000686
5	3.00	0.35	0.20	0.00060	0.0002100
6	0.30	0.06	0.50	0.00015	0.0000090
7	1.80	0.35	0.30	0.00054	0.0001890
8	1.80	0.35	0.80	0.00144	0.0005040
9	2.00	0.35	0.80	0.00160	0.0005600
10	5.00	0.35	0.40	0.00200	0.0007000
11	0.20	0.04	0.80	0.00016	0.0000064
12	0.40	0.08	0.40	0.00016	0.0000128
13	1.80	0.35	0.80	0.00144	0.0005040
14	4.00	0.35	1.00	0.00400	0.0014000
15	1.00	0.20	0.80	0.00080	0.0001600
16	2.00	0.35	0.80	0.00160	0.0005600
17	0.30	0.06	0.50	0.00015	0.0000090
18	0.20	0.04	0.10	0.00002	0.0000008
19	0.60	0.12	1.10	0.00066	0.0000792
20	2.00	0.35	1.30	0.00260	0.0009100
21	0.50	0.10	1.00	0.00050	0.0000500
22	0.30	0.06	0.30	0.00009	0.0000054
23	0.20	0.04	0.40	0.00008	0.0000032
24	2.00	0.35	0.80	0.00160	0.0005600
25	0.80	0.16	0.50	0.00040	0.0000640
26	0.20	0.04	0.20	0.00004	0.0000016
27	0.30	0.06	0.30	0.00009	0.0000054
28	5.00	0.35	5.20	0.02600	0.0091000
29	0.50	0.10	0.70	0.00035	0.0000350
30	0.50	0.10	0.30	0.00015	0.0000150
31	0.60	0.12	0.70	0.00042	0.0000504
32	0.50	0.10	1.20	0.00060	0.0000600
33	0.30	0.06	0.40	0.00012	0.0000072
34	0.50	0.10	0.30	0.00015	0.0000150
35	3.00	0.35	0.60	0.00180	0.0006300
36	1.00	0.20	0.80	0.00080	0.0001600
37	3.00	0.35	1.20	0.00360	0.0012600
38	0.50	0.10	0.30	0.00015	0.0000150
39	2.00	0.35	1.50	0.00300	0.0010500
40	0.50	0.10	0.30	0.00015	0.0000150
41	1.00	0.20	0.60	0.00060	0.0001200
42	1.50	0.30	0.80	0.00120	0.0003600
43	2.00	0.35	1.20	0.00240	0.0008400
44	0.80	0.16	0.50	0.00040	0.0000640
45	1.50	0.30	0.50	0.00075	0.0002250
46	0.30	0.06	0.50	0.00015	0.0000090
47	0.30	0.06	0.50	0.00015	0.0000090
48	2.00	0.35	0.60	0.00120	0.0004200
49	1.50	0.30	0.50	0.00075	0.0002250
50	0.50	0.10	0.50	0.00025	0.0000250
計			36.50	0.072	0.023

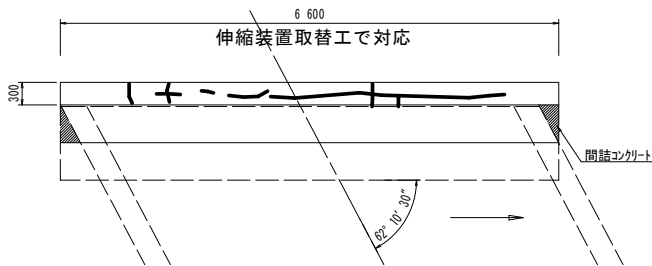
平面図 S=1:50

A1橋台



A2橋台

※胸壁頂面ひびわれ補修は伸縮装置取替で兼ねる



※ひびわれ深さは、一般社団法人コンクリートメンテナンス協会のひびわれ深さの推定方法により算出。
ひびわれ幅0.2mm～1.75mmの場合：ひびわれ深さ=ひびわれ幅×200
ひびわれ幅1.75mmより大きい場合：ひびわれ深さ=350mm

※下地処理の際には、コンクリート表面の付着物や遊離石灰等を完全に除去すること。

※ひびわれ注入工、表面含浸工の範囲数量は、現地を確認の上、
監督員立ち会いのもと最終決定すること。

令和6年度 道路メンテナンス事業 堀金76号橋補修工事				
番号	6 / 6	下部工補修図	橋長	図示
市道堀金1442号線				
安曇野市 堀金三田 堀金76号橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				